

# おはなしワールドだより

進級おめでとう号

2022年4月 高学年



進級おめでとうございます。勉強や委員会活動、がんばってくださいね！おはなしワールドからみなさんに、色々な本を紹介します。みなさんの心の糧となるような、そんな本が見つければうれしいです。学校図書館や公共図書館で探して、読んでみてくださいね！



## おすすめの本



### さすらい猫 ノアの伝説

作：重松 清 絵：杉田 比呂美

講談社

授業中にまどから、健太のひざの上をめぐらして、飛びこんできた黒ネコのノア。ノアの首にまかれたふろしきからは、折りたたまれた紙が？！

「ノアはきっと、あなたたちのクラスがわすれてしまった大切なことを思い出させてくれるはず…」って書いてあるのだけど…？！

続編もあるよ。



### はせがわくんきらいや

作・絵：長谷川 集平

復刊ドットコム

昭和30年ごろ、ヒ素という毒物が混入したミルクを飲んでしまった乳

幼児が 死亡したり 中毒になった事件がありました。はせがわくんもその事件のせいで…。

なんで、はせがわくんは あんなにめちゃくちゃなんや。はせがわくんなんか だいきらいや。という優しい友達が語るはせがわくんのおはなしです。



### 唐木田さんち物語

作：いとう みく

絵：平澤 朋子

毎日新聞出版

大家族の唐木田家は、五男三女の八人兄弟。なかでも四男の志朗は小学五年生。上と下にはさまれて何かと苦勞も多かったです。

そんなある日、一番上のいち姉の結婚話をめぐって、かあちゃんとねえちゃんが、もめだして…？！ やっかいだけど、おもしろい家族物語。

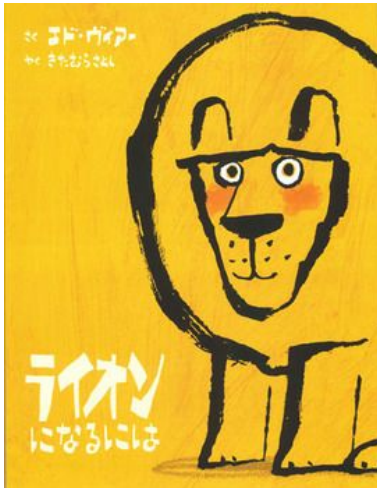


### あいててて！

絵：フレッド・マルチェリーノ 訳：せな あいこ

再話：ナタリー・バビッド 評論社

もともとはグリム童話のお話。登場人物は、いじわる王様と ときょうがありラッキーな少年マルコ。王様に「じごくへ行ってあくまの頭から毛を三本抜いてこい」と言われたマルコ。マルコは無事にじごくから帰って来て 姫と結婚できるのか？いじわる王様は どうなるのか！？

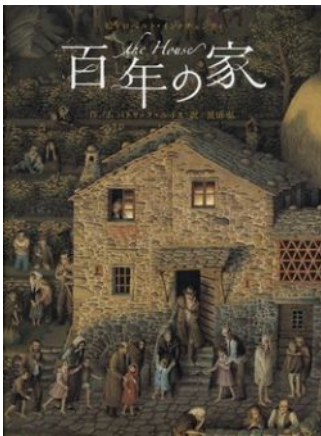


### ライオンになるには

作：エド・ヴィアー 訳：きたむら さとし

B L出版

レオナルドはライオンなのに、散歩がすきで、詩を作るのがすきで、アヒルのマリアンヌと大のなかよし。「ライオンらしくなれ」という他のライオンたちにレオナルドはマリアンヌとふたりでつくった詩を聞かせます。すすむ道はひとつではないよと語りかける絵本です。



### 百年の家

作：J・パトリック・ルイス

絵：ロベルト・インノチェンティ

訳：長田 弘 講談社

主人公は 石づくりの家。1けんの古い家が自分の歴史を語るように、お話が進んでいきます。100年の間に 嵐にあったり、結婚式があったり おそう式があったり、戦争があったり…。家を中心に たくさんの人たちが登場し、めぐる季節や人々の喜び、悲しみを感じることができます。



### カレーの教科書

岩崎書店

編集：石倉 ヒロユキ

監修：シャンカール・ノグチ

日本の国民食、カレー！カレーのあれこれが知れる1冊！カレーはいつ日本にやってきたの？日本式カレーライスの歴史、世界のカレー味マップ、レトルトカレー工場見学、などなど。読む前に、夕飯はカレーがいいなとリクエストしておいた方がいいかも。



### たまご

作・絵：ガブリエル・バンサン B L 出版

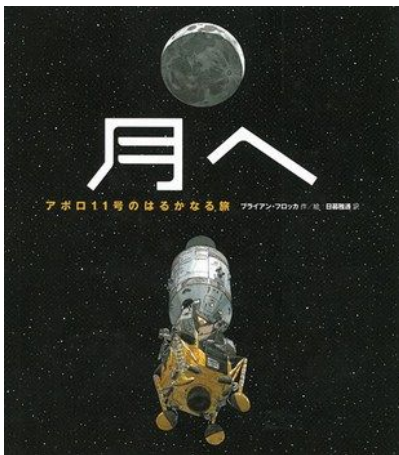
広い大地に突然現れた 巨大なたまご。このたまごは 何故ここに？この本には 言葉がありません。ページをめくる度に 疑問や好奇心が生まれてきます。ページをめくる読者の想像や読み方に託された1冊です。あなたには何が伝わってくるのでしょうか？



### ふしぎなともだち

作：たじまゆきひこ くもん出版

あたらしい学年になって、友達はできましたか？あなたの友達はどんな人ですか？「ことばで、はなしができないのに心がわかりあえる」島の小学校に転校してきたぼく。やっくんとのお会いがありました。絵本作家のたじまゆきひこさんが淡路島で取材を重ね、4年の歳月をかけて、この作品を生み出しました。ぜひ、あなたに読んでほしい1冊です。



### 月へ アポロ11号のはるかなる旅

作・絵：ブライアン・フロッカ

訳：日暮雅通

偕成社

1969年、人類で初めて月に着陸した アポロ11号のことをわかりやすく紹介しています。神秘的な絵と臨場感のある文章で、読むみなさんを月旅行に連れて行ってくれますよ！！



おじいちゃんの小さかったとき

作：塩野米松 絵：松岡達英

おばあちゃんの小さかったとき

作：おちとよこ 絵：ながたはるみ

福音館書店



みなさんには、おじいちゃんおばあちゃんはいますか？どんなお話をしますか？この本をながめながら会話をすれば、みなさんの知らないようなことをたくさんお話してくれるかもしれませんよ。どんな子どもだったのかな？



### はじまりはたき火 火とくらしてきたわたしたち

作：まつむら ゆりこ

絵：小林 マキ

福音館書店

火は暗い夜を明るく、寒い冬を暖かくしてくれます。食べ物を煮炊きし、土の器や金属の道具などを作ることできます。火を使うために森がきりひらかれ…、便利になる一方で起こった問題とは…？エネルギーと私たちについて考えることができる1さつです。



### 戦争と平和を見つめる絵本 わたしの「やめて」

文：自由と平和のための京大有志の会

絵：塚本 やすし

朝日新聞出版

今、ロシアとウクライナでは戦争が起きています。戦争はどのように起こるのでしょうか？どうすれば終わるのでしょうか？ぼくたち一人ひとりの力は小さいけど、声をあげることはできる。今世界ではどんなことが起き、何を考えればいいのだろう…。そんなことを考えさせてくれる絵本です。

↓保護者の方へ

### 我が家とおはなしワールド



春休みが終わり、新学期が始まりましたね。我が家のマイペースな子どもに、「早くしなさい」という毎日です。そんな中、図書館で手に取った「さくららら」。桜のモノローグ（わたし）で語る写真絵本です。美しい写真と主人公のさくらちゃんのセリフが心に響きました。我が家の子も1年生です。不安もありますが、この桜が咲く森のように子どもをあたたかく見守る親になれたらと思いました。

「さくららら」 文：升井 純子 写真：小寺 卓矢 アリス館

